

「御所見公民館パソコン教室入門コース」カリキュラム（2002年6月15、16日実施予定）

#### 全体の流れ

一日目 9:30～12:00 「ソリティア（トランプゲーム）」によるマウス練習  
13:00～15:30 「WORD（ワープロソフト）」による年賀状作成を通しての日本語入力の練習  
二日目 13:00～16:00 「タイピング体操」を使用してのタイピング習得補助  
「」による の練習

対象：30名のPC初心者

構成：インストラクター（進行、講義全般）1名、TA（講義補助）9名

教材：全員に購入してもらった『よくわかるIT入門』という教科書は、当日カリキュラムの中で該当箇所が出てきた場合にそのような内容がこの部分に載っていますという事を示す程度に留める

カリキュラム詳細中の \_\_\_\_\_ の部分はインストラクターが見本を全員のディスプレイに投影して説明する部分を表す  
\_\_\_\_\_ の部分はTAが特に注意すべき部分を表す

カリキュラム詳細（1日目午前・ソリティア）

講習内容	時間	講義概要	TAさんの対応
<p>あいさつ・講義概要説明</p> <p>すでにPCは起動、画面にはソリティアが最大化されている</p> <p>ソリティアの設定は難易度が低い「一枚ずつ」になっている</p>	<p>15分</p> <p>9:30～9:45</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大岩先生のあいさつ</li> <li>・ インストラクター、TA各員の自己紹介</li> <li>・ 講義概要：1日目は年賀状を作る事、最初に行うのはソリティアというゲームである事等、説明する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各人に簡単な自己紹介をしてもらう（マイク使用、前で1列に並んで）</li> </ul>
<p>マウスの説明</p>	<p>3分</p> <p>9:45～9:48</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マウスとはどれであるか、どう持つか、どのように使うかの説明</li> <li>・ マウスポインタの認識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ きちんと握れているかどうかの確認、出来ていなかったら個別指導</li> <li>・ カーソルの呼び方は「マウスポインタ」で以後統一する</li> </ul>
<p>マウスの移動練習</p>	<p>4分</p> <p>9:48～9:52</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マウスとマウスポインタが同時に動く事を認識してもらい、それを思い通りに動かすために、ソリティアの画面中のトランプ上を一つ一つ辿ってもらう</li> <li>・ <u>トランプを辿るという動作はインストラクターの画面を最初に受講者に見せる</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>マウスを思い通りに動かすための練習である事を強調</u>してもらう これはインストラクターの方でも強調する</li> <li>・ マウスポインタは必ず<u>トランプの真ん中</u>に持って来てもらうようにする</li> </ul>

<p>マウスの左クリック練習</p>	<p>4分 9 : 5 2 ~ 9 : 5 6</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>マウスがある程度動かせるようになっているので、ソリティア上で一番左上のトランプの山にマウスポインタを持っていき、それをクリックするとトランプがめくれる事を示す</u></li> <li>・ 繰り返し練習のために、何度もトランプをクリックでめくってもらう 時間でやめる、あるいは3周ほどめくりきるのを目安に。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同様にクリックの練習であることを強調する</li> <li>・ <u>この際にもマウスポインタは必ずトランプの真ん中に持ってきてもらう</u></li> <li>・ きちんとクリックができていないようなら（右と左を同時に押しているなど）教えてあげてこの段階で直してもらう</li> </ul>
<p>マウスのドラッグ練習</p>	<p>4分 9 : 5 6 ~ 1 0 : 0 0</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>一番左上のトランプから、マウスポインタを左下のトランプに移動し、それをクリックする・・・と何も起こらないのでここでドラッグをするとトランプが動く事を示す</u></li> <li>・ インストラクターの見本通りにドラッグを行ってもらう 時間でやめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同様にドラッグの練習であることを強調する</li> <li>・ マウスポインタはトランプの真ん中に</li> </ul>
<p>ソリティアのルール説明・段階1 (最終目標説明・A探し) ソリティアのルールを記した教材は、以下適宜TAの手から配布してもらう</p>	<p>5分 1 0 : 0 0 ~ 1 0 : 0 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>ゲームの最終目的、5 2 枚のカードを全て右上の4つの場所に1 3 枚ずつ置く、という事の説明</u></li> <li>・ <u>置くのはA ( 1 ) ~ K ( 1 3 ) の順番である事、マーク ( ハート、スペード等 ) 毎である事の説明</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>ソリティア教材 を配布</u></li> <li>・ Aを探すお手伝い もし見つからなかったら、TAさんの操作で一度カードを配り直して再度探してもらう</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>それらを踏まえて、まずA(1)を探す所から全員に操作を行ってもらう</u></li> <li>• Aが全員見つかったら、<u>ダブルクリックで右上に移動する事を示す</u></li> <li>• 一枚A(1)を移動したら、しばらく再び別のマークのA(1)あるいは同じマークの2を探してもらう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>トランプが良く分からない人(A=1、K=13など)がいたら、個別に指導</u></li> <li>• <u>これ以降カードを右上に移動する際は、必ずダブルクリックで行ってもらうよう徹底</u></li> </ul>
ソリティアのルール説明・段階2 (一枚ずつのカード移動)	5分 10:05~10:10	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>再びゲームの最終目標を確認した上で、現在のままではカードを探せない場所がある事を示し、ここで新しいルールを教える</u></li> <li>• <u>黒の10の下には赤の9が、赤の9の下には黒の8が、というルールでトランプがマウスのドラッグで移動できる事を示し、再びA,あるいは2探しを</u> <u>してもらう</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>ソリティア教材を配布</u></li> <li>• <u>この段階ではカードを移動するという概念が今ひとつ理解できないと思うので、移動できそうなカードがあったら、教えてあげて移動してもらう</u></li> <li>• <u>ドラッグによるカードの移動と、ダブルクリックによるカードの移動の区別をしっかりとしてもらう</u> <u>今回は一度右上の山に移動したトランプは、基本的に下に戻さないで作業してもらう。受講者がそうする事の利点に気付いて、なおかつ疑問に思っているようなら、個別に教える分にはかまわ</u></li> </ul>

			ない
ソリティアのルール説明・段階3 (空いた場所へのK(13)の移動)	5分 10:10~10:15	<ul style="list-style-type: none"> <li>再びゲームの最終目標と関連させて、<u>空いている場所にはKが置ける事、なぜ置くと良いかという事を示す</u></li> <li>再びソリティアを続けてもらう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>ソリティア教材</u> を配布</li> <li>空いている場所が出来ている人には、Kを置ける事を積極的に示す</li> </ul>
ソリティアのルール説明・段階4 (複数枚のカードの同時移動)	5分 10:15~10:20	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>再度ゲームの最終目標を確認し、それを踏まえて複数枚のカードがまとめてドラッグ移動できる事を示し、その際に単体のカードの移動と同じルール(赤・黒の下には黒・赤の一つ小さい数)が適用されている事を説明</u></li> <li>再びソリティアを続けてもらう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>ソリティア教材</u> を配布</li> <li>同様に複数枚カードが移動できる場所を発見したら、気付いていない場合は教えてあげる(ただし一人の人に時間をあけずに何回も教える事はしない)</li> <li>詰まっている人がいたら、本当に詰まっているのかどうかの判断を一緒に考えてあげる</li> </ul>
ソリティアのフリー練習	15分 10:20~10:35	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由にソリティアを遊んでもらう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>この段階では積極的に声をかけてあげる</li> <li>完全に詰まっている人がいたら、TAさんの操作で配り直しをする(生徒にはやらせない)</li> </ul>
休憩	10分 10:35~10:45	<ul style="list-style-type: none"> <li>PCはそのままにして、全員PCからはなれて休憩してもらう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>

<p>カードの配り直しの練習</p>	<p>5分 10:45 ~ 10:50</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>マウスポインタを左上の「ゲーム」に持っていくそこをクリックしてもらう</u></li> <li>・ <u>出てきたメニューの中から「カードを配る」というものを見つけてもらう</u></li> <li>・ <u>そこにマウスポインタを移動しクリックしてもらう</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分からない人、失敗した人に個別指導</li> <li>・ <u>コレ以前には正規にはカードの配り直しはやらない。T Aが各自対応する事</u></li> </ul>
<p>ソリティアのフリー練習</p>	<p>30分 10:50 ~ 11:20</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自由にソリティアを遊んでもらう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あまり理解していない人を重点的に指導する</li> <li>・ 適宜質問には答える</li> </ul>
<p>ウィンドウズ基本操作練習1 (アプリの概念、起動、終了、スタートメニュー)</p>	<p>5分 11:20 ~ 11:25</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>ソリティアをメニュー「ゲーム」「ソリティアの終了」より終了する</u></li> <li>・ <u>ソリティアはPCでやりたい事のたった一つである事を説明し、アプリケーションと言う概念を漠然と知ってもらう</u></li> <li>・ <u>アプリケーションのスタートメニューからの起動の練習として「プログラム」「アクセサリ」「ゲーム」「ソリティア」を起動してもらう</u></li> <li>・ <u>同様の操作でソリティアを10個ほど複数起動して、PCでは複数アプリケーションを同時に起動できることを漠然と分かってもらう</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>操作を理解しているだけではなく、概念を理解できているかどうかをT Aが各自判断し、理解に合わせた説明を各自が行う</u></li> <li>・ <u>ただし、操作が出来ていない人をここでは重点的に指導する</u></li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>一番手前のソリティアをメニューから終了してもらう</u></li> <li>・ <u>次のソリティアはウィンドウ上の「×」ボタンを押して終了してもらう。</u></li> <li>・ <u>全てのソリティアをどちらかの方法で終了してもらう。</u></li> </ul>	
<p>ウィンドウズ基本操作練習 2  (ウィンドウのサイズ変更、ウィンドウがアクティブであるという事の理解、ウィンドウの移動)</p>	<p>10分  11:25 ~ 11:35</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>再びソリティアを3個ほど起動してもらう</u></li> <li>・ <u>一番手前のウィンドウのサイズを手動操作してもらう</u></li> <li>・ <u>サイズ変更のうち最大化はボタン一つで出来る事を示す</u>  <u>先程の「×」ボタンとの共通性</u></li> <li>・ <u>同時に二つのウィンドウ操作は出来ない事を示し、「アクティブウィンドウ」の概念を示す</u></li> <li>・ <u>全てのウィンドウを重ならないように画面全てを使って再配置してもらう</u>  <u>移動の方法を指導</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>ウィンドウを移動する際にマウスポインタを置く場所(ドラッグ開始場所)は、指導する際は基本的にバーの中心部分で。</u>  <u>マウス操作が上達していないと、端の部分では上手に掴む事が出来ないから</u></li> </ul>

<p>ウィンドウズ基本操作練習 3 (デスクトップの上手な使い方、タスクバーの使用方法)</p>	<p>5分 11:35 ~ 11:40</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>さらにデスクトップを有効に使う方法としてタスクバーを使う事を示す。</u></li> <li>・ <u>最小化、タスクバーからの復帰を実際に画面で示す</u></li> <li>・ 一度全てのウィンドウを閉じてもらい、スタートメニューからソリティアを10個ほど起動してもらおう</li> <li>・ <u>最大化、タスクバーに収納、という操作を繰り返し、デスクトップ上に何も無いようにしてもらおう</u></li> <li>・ さらにタスクバーから一つ一つを復帰、最小化を繰り返してもらおう。 タスクバーの利便性を漠然と理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし</li> </ul>
<p>ウィンドウズ操作練習 4 (ソリティア以外のアプリケーションの起動、終了)</p>	<p>5分 11:40 ~ 11:45</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>スタートメニューから他のアプリケーションを幾つか起動してもらおう。ただしシャットダウンだけはしないように</u> WORD, EXCEL, POWER POINT等々</li> <li>・ <u>ソリティア以外のアプリケーションも全てウィンドウ操作、タスクバーへの収納、復帰等が同様の操作で可能である事を示し、実際にやってもらおう</u> PCには様々なアプリケーションが</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし</li> </ul>

		入っている事を漠然と理解	
自由時間	13分 11:45 ~ 11:58	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ソリティアを再びやるもよし、様々なアプリケーションを起動してみるもよし、自由にPCをいじってもらう ただしスタートメニューから新しいアプリケーションを起動した際に、ウィンドウ操作、タスクバー操作等以外のアプリケーションそのものを操作したい時は、TAを呼んで、説明を聞く事を徹底する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ このアプリケーションは何をするものですか？という質問が相次ぐと思われるので、各自責任を持って対処する</li> <li>・ システムをいじったりするモノ以外は実際にアプリケーションを少しいじってもらっても構わない</li> </ul>
PCの終了	2分 11:58 ~ 12:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今現在起動しているアプリケーションを全て終了してもらう</li> <li>・ スタートメニューからシャットダウンを選択し、PCの終了を行う</li> <li>・ 午前中にやった事を再確認し、午後に何をやるのかの概要を説明する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし</li> </ul>

カリキュラム詳細（1日目午後・年賀状作成）

講習内容	時間	講義概要	TAさんの対応
<p>あいさつ・講義概要の説明</p> <p>SKEY の入ったフロッピーディスク、SKEY 起動マニュアルは配布済み</p>	<p>5分</p> <p>13:00～13:05</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 午後の講義の概要を説明する 年賀状を作成する そのために日本語入力をできるようにする</li> <li>・ PC の起動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">見本の年賀状の配布</span></li> </ul>
<p>SKEY の起動</p> <p>別途配布の「SKEY 起動マニュアル」を用いる</p>	<p>5分</p> <p>13:05～13:10</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SKEY をフロッピーディスクから起動する 別途マニュアルを参照</li> <li>・ SKEY を起動させたら、続けて WORD を起動する。 SKEY がアクティブになる</li> <li>・ SKEY の画面から、「漢字」というボタンを一度押してもらい、直接入力モードに切り替える（今後の講習のため）</li> <li>・ 同様に「常駐」というボタンを押してもらう これは WORD がアクティブでなくても SKEY が消えないようにするモノ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SKEY は起動しても文章を書くアプリケーションの方がアクティブ（ウィンドウが一番手前に来る）にならないと画面上に表示されないため、受講者に戸惑いが予想される。 TA はこの事に戸惑わないようにし、SKEY が起動されていなかったらどこに原因があったかを説明し、再び起動の指導する</li> </ul>

<p>文字入力基礎 1 (文字カーソルの認識)</p>	<p>4分 13:10 ~ 13:14</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マウスポインタとは別にメモ帳上に動くものがある事を確認してもらう</li> <li>文字カーソルという名称の紹介</li> <li><u>文字カーソルとはそこから文字を書き始められるという合図である事を説明する</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字カーソルを認識してもらう事は文字入力の習得の大きな部分を占めるので、分かっていなさそうな人には、これですよ、と指し示してあげてできるだけ理解してもらうようにする</li> </ul>
<p>文字入力基礎 2 (直接入力)</p>	<p>4分 13:14 ~ 13:18</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひらがなのキーボードが表示されるので自分の苗字を入力してもらう <u>直接入力なのでカタカナになる</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最初にカタカナで入力する事に対して、これは文字入力の練習であって、段階を踏んで漢字入力にまで行くのだという事を説明する これはインストラクターも行う</li> <li>この段階では失敗した文字は消さないでそのままにしておく</li> </ul>
<p>文字入力基礎 3 (削除 = BackSpace)</p>	<p>2分 13:18 ~ 13:20</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字カーソルの位置を確認してもらう 今迄入力した苗字の一番最後に来ているはず</li> <li><u>BackSpace を押してもらう、すると文字カーソルの手前の1文字が消える事を示す</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まずはとにかく文字カーソルの位置を受講者に確認してもらう 受講者に文字カーソルの確認の癖を。</li> <li>Del キーは今回は使わない</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字に直したいので、今迄入力したものは全て消してもらう</li> </ul>	
<p>文字入力基礎 4 (直接入力 日本語入力切替)</p>	<p>4分 13:20 ~ 13:24</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カタカナではなく漢字を入力するために直接入力から日本語入力に切り替える</li> <li><u>SKEY 上の「漢字」ボタンを押してもらう</u> <u>直接入力から日本語入力へ</u> <u>画面下部のIMEバーの表示が切り替わる</u></li> <li>最終的に日本語入力モードに切り替えたら再度自分の苗字を入力してもらう 変換はまだ行わないでここでストップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「漢字」ボタンは押してもへこまないボタンなので、押したかどうかは必ず ATOK バーを使って確認する</li> </ul> <p>今回の講義では「さとう」と入力し、下部に線が引かれまだ変換前の状態を『ひらがな入力モード』、Space を一度押し、変換候補を選ぶ状態を『変換モード』、Enter を押して「佐藤」と確定した状態を『確定した』と呼び区別しています。この段階ではひらがな入力モードで止まって待っててください</p>
<p>文字入力基礎 5 (漢字変換)</p>	<p>4分 13:24 ~ 13:28</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『ひらがな入力モード』という名称の説明</li> <li><u>Space (変換・空白) と書かれたボタンを押す事によって変換される事を示す</u></li> <li>続けて何回も Space を押すと塗りつぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的には前での全体説明が終わるまでは変換等をさせない、がもし変換してしまったらその状態が『ひらがな入力モード』から『変換モード』に変わったんだよ、という事</li> </ul>

		<p><u>された部分が下に移動していく事を示し、この変換候補を選んでいる状態が『変換モード』である事を説明</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>変換候補が決まったら、Enter で確定をする。線が消えた事を示し、この状態が『確定した』という状態である事を説明、ここまで来て初めて文字入力が終わった事を説明する</u></li> <li>・ 苗字との間隔(スペース)は開けずに、続けて各人の名前を入力してもらう</li> <li>・ 変換候補の変更もここで見本は見せておく</li> </ul>	<p>を解説して、次の動作を待つ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本語を入力するためには『ひらがな入力モード』、『変換モード』、『確定』という3つの状態を経る事を理解してもらえるように心がけて指導する</li> <li>・ 名前の入力の際はスペースをまだあけずに入力</li> <li>・ 恐らく名前入力の際に変換等失敗すると思うので、失敗したら文字カーソルの位置に注意してもらいながら、バックスペースで消して、もう1回入力してもらう</li> </ul>
<p>文字入力基礎6 (文字カーソルの移動、空白のあけ方)</p>	<p>4分 13:28 ~ 13:32</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苗字と名前との間に空白をあけてみよう、という目的の元、文字カーソルを自由な場所にもって行けるように練習する</li> <li>・ <u>文字カーソルがすでに書いた文章の内部にならクリックした所に自由に移動する事を示す</u></li> <li>・ 文字カーソルを自由に移動してもらう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>ここでの主眼は文字カーソルの移動なので、空白をあけるという目的を達成するよりも文字カーソルが自由に移動できるようにする事を目指して指導する</u></li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>そこでスペース（変換・空白）ボタンを押すと空白があく事を示す</u></li> <li>・ 同じ場所で何度もスペースを押してもらう 横にどんどん空白が広がっていく</li> <li>・ <u>空白を訂正する時は BackSpace で消せる事を示す</u>・実際に消してもらう 文字カーソルの位置に注意してもらう</li> </ul>	
文字入力基礎7 (改行)	4分 13:32 ~ 13:36	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まずは名前に続けて住所を書いてもらう。住所が名前と同じ行に来ているはずなので、これを住所だけ次の行に移動したいという目的の元、改行を教える</li> <li>・ <u>最初の文字カーソルの位置から改行したい文の切れ目に文字カーソルを移動し、そこで Enter（確定・改行）を押すと、改行される事を示す</u> <u>この時改行後の文字カーソルの位置に注意してもらう</u></li> <li>・ 実際に文字カーソルの移動、改行を受講者に行ってもらう</li> <li>・ <u>改行を訂正する時は文字カーソルの位</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 改行の重要性はむしろ2日目の年賀状作成の時に出てくるので、ここではそんなに深くは突っ込まないで、「改行」の紹介程度に留める</li> <li>・ <u>ここでも重要なのは文字カーソルの自由な移動が出来るようになる事なのでそれを念頭に指導する</u></li> </ul>

		<p><u>置に注意して、BackSpace で訂正する事ができる事を示す</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実際に余分に改行してもらい、それを BackSpace で訂正してもらう</li> </ul>	
<p>年賀状に書く事を決める 年賀状デザイン用紙（白紙）を一応準備 見本の年賀状は既に配布済み</p>	<p>9分 13:36 ~ 13:45</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 早く終わった人には PC の操作をしてもらう</li> <li>・ 誰に書くのか</li> <li>・ どのようなメッセージを添えるのか</li> <li>・ どこに絵を入れるのか</li> <li>・ どこに文字を配置するのか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>受講者が書いている間に日本語入力マニュアルを配布</u></li> <li>・ どんな事を書いたらいいか、等の相談にのってあげる</li> <li>・ ここの文字を大きくしたら見栄えが良くなるんじゃない？等のアドバイスをして、後に出てくる文字サイズの変更等の操作につなげて良い</li> </ul> <p>ここでは「横書き」「縦方向」のハガキをデザインしてもらう（見本通り）</p>
<p>用紙の設定</p>	<p>5分 13:45 ~ 13:50</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>メニューから「ファイル」「ページ設定」「用紙設定」を選択し、ハガキサイズにする。</u></li> <li>・ <u>同様にページ設定「余白」を選択し、上下左右の余白を全て0に選択し、OKを選ばるとプリンタに合わせて修正を求</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>用紙サイズ変更マニュアルを配布</u></li> <li>・ 用紙設定は受講者には難易度が高すぎるので全面的に TA がサポートする事。ここでは相手によっては原則をやぶ</li> </ul>

		<u>めてくるので修正を選択する</u>	り、作業を横取りしてしまっても構わない
休憩	15分 13:50~14:05	・ 用紙設定が終った人から。あるいはT Aに任せた人も休んでもらって構わない。	・ 特になし
年賀状作成1 (自分の年賀状の文章を書いてみましょう)	10分 14:05~14:15	・ 改行等を意識せずにとりあえず全ての文章を書ききってもらう	・ T Aさんは質問されたら改行を指導しても良い。ただし全体的な位置の調整まではまだやらない
年賀状作成2 (文章の位置を調整してみましょう・・・改行)	10分 14:15~14:25	・ <u>全く改行を入れていない文章を示し、そこに改行を入れて文章の縦の位置を調整する方法を示す</u> ・ 実際に文章の位置を整えてもらう	・ 改行を繰り返すとWordが2ページ目に突入してしまう事があるが、とりあえずは気にしないで進めていく。ただし生徒が気にした場合は全体の一番最後に文字カーソルを移動して、そこから Back Space を押して消していけば1ページに戻せる事を教えても良い。この際はあくまで文字カーソルの移動を意識させて教える事

<p>年賀状作成 3 (文章の位置を調整してみました・・・空白)</p>	<p>5分 14:25 ~ 14:35</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>全く空白を入れていない文章(先ほど使った文章の続き)を示し、そこに空白を入れて文章の横の位置を調整する方法を示す</u></li> <li>・ 実際に文章の位置を整えてもらう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし</li> </ul>
<p>年賀状作成 4 (とりあえず印刷してみました)</p>	<p>5分 14:35 ~ 14:40</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>左上の印刷ボタンを押してもらって印刷する事示す</u></li> <li>・ 実際に印刷ボタンを押してもらう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TAが紙をプリンターのトレイに入れてあげる</li> <li>・ 複数の人が同じプリンターを使うのでTAさんが全体を把握し、各人に確実に自分の年賀状を渡してあげる</li> </ul>
<p>年賀状作成 5 (画像を挿入してみましょう)</p>	<p>15分 14:40 ~ 14:55</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文字カーソルの位置を確認してもらう</li> <li>・ 絵を入れたい場所に文字カーソルを移動してもらう</li> <li>・ <u>「挿入」「図」「ファイルから」と選択し、画像一覧が表示される事示す</u></li> <li>・ <u>画像のイメージ選択のやり方を続けて示す スクロールバーの練習</u></li> <li>・ <u>挿入した画像は文字と同じように、改行、空白で位置を調整できる事示す</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 画像の選択はゆっくりとやってみてもらってよい</li> <li>・ <u>もし誤って選択、確定してしまったら、文字カーソルを画像の後ろに移動して、BackSpaceを1回押すと画像が指定され、さらにもう1回押すと消える。その後、再び挿入したい場所に文字カーソルを移動し、「挿入」「図」</u></li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実際に画像の挿入をやってもらう</li> </ul>	<p>「ファイルから」という作業をやってもらう。あくまで一つ一つの作業を講習者にやってもらう事</p>
<p>年賀状作成 6          (・文字を飾ってみましょう)          (・最終的な年賀状の完成)</p>	<p>2 5 分          1 4 : 5 5 ~ 1 5 : 2 0</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>文字カーソルを修飾したい文章の一番頭に持ってきて、そこからドラッグして修飾したい文章の最後まで持ってくる。そうするとその部分の色が塗りつぶされて変わる事を示す</u></li> <li>・ まず、文字カーソルを文章の最初に移動してもらう</li> <li>・ できたらドラッグして、文章の最後に持ってきてもらう</li> <li>・ そこでマウスを放しても、文章の色が変わったままである事を言う</li> <li>・ <u>この状態で上の文字修飾用のボタン(太字、斜体、アンダーライン、枠など)を押すと文章を修飾でき、修飾が終わったら、別の場所をクリックすると文字の塗りつぶしが消え、「確定」した事を示す</u></li> <li>・ 上のボタンをいじって、さらに別の場所をクリックして確定してもらう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文字カーソルの認識を重視し、「範囲指定」、「修飾作業」、「確定」という文字入力の時と同様に3つの状態がある事をきちんとわかってもらうよう教える</li> <li>・ 付いて来られない人が出てきた場合は無理をせずに、文字カーソルの認識、文字カーソルの移動からゆっくりと復習してもらう。この後に自由作成時間を設けるのでそこで再び範囲指定を個別に教えれば良い</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 確定し終わったら、今度は別の部分を範囲指定して、文章が塗りつぶされた状態にしてもらう</li> <li>・ <u>別の部分を範囲指定し、今度はフォント、文字の大きさを変更してみせ、それを別の場所をクリックして確定させる作業を見せる・・・スクロールバーの復習</u></li> <li>・ 実際にフォント、文字の大きさを変更してもらう</li> </ul>	
年賀状作成 9 (再度印刷してみましょう)	5分 15:20 ~ 15:25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出来上がった人から適宜印刷をしてもらう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出来上がった人には声をかけてもらうので、印刷のやり方を再度指導してあげる。ただしボタンを押したりするのはあくまで講習生の手で</li> </ul>
年賀状完成・Wordの終了・PCの終了	5分 15:25 ~ 15:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Wordを終了する際に「保存しますか?」という質問をされるので「はい」を選択する。さらに画面が出るので「保存」を選択     フロッピーディスクに保存     「保存」の概念を解説</li> <li>・ PCの終了</li> <li>・ 1日通して学んだ事を解説、翌日に行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし</li> </ul>

		う事（キーボードを使う事）を説明	
--	--	------------------	--